

第 1 回地域検討会（福井県）での指摘事項に対する対応（案）

(1) 全体計画について

1	<p>【指摘】この検討会は公開、あるいはプレス発表をするのか。また、このような調査をゴミ減量に向けての啓発として使っていくべきであろう。</p> <p>福井県の立場からも、やはり非常にいい調査と思うので、できるだけ積極的に PR してほしい。</p> <p>【対応】第 1 回地域検討会は原則非公開（報道機関の頭取りのみ）としたが、同検討会においても多くの検討員の方々から、地域の皆さんへの周知、協力をいただくためにも公開にすべきではないか、とのご意見を頂戴した。また、東京で開催する総括検討会も、第 2 回から公開扱い（傍聴者公募、報道機関も最後まで傍聴可）としている。事務局としては、地域検討員の皆様のご意見を踏まえて環境省とも相談の結果、各県の地域検討会も第 2 回から公開とさせていただく。福井県および坂井市の HP で検討会の開催を周知し、一般傍聴の公募を行っている。</p>
---	---

(2) 概況調査計画について

特になし

(3) クリーンアップ調査及びフォローアップ調査計画について

1	<p>【指摘】各自治会では独自に浜の清掃活動を行っている。これから調査が実施されることを考えると、今後はどのようなタイミングで清掃活動を行えばいいか。</p> <p>自治会の年間事業の中に、海岸清掃が年 2 回ある。安島地区では 9 月 22 日に実施する。その時に同時にやるのであればそれでも良いが。</p> <p>【対応】既にある地元の活動とうまく連動しながら、調査の日程を組んでいきたい。特に独自調査は清掃活動と同時に実施できるように調整したい。また、人員の募集についても各自治会と協議を行いながら進めていきたい。（第一回目のクリーンアップ調査は、安島地区では 9 月 22 日に、米ヶ脇地区では 10 月 3 日に、梶地区では 10 月 6 日に自治会の協力を得て実施した。）</p>
2	<p>【指摘】海岸に打ち上げられた海藻にはプラスチックまたは発泡スチロールが含まれている。それらをすべて回収するのか。</p> <p>【対応】今回の調査では、すべて回収することを考えている。ただし、あまりにも量が多い場合には浜から搬出できない場合もあるので、実際に全て回収できるかどうか、浜の状況をみて検討したい。（安島地区の独自調査では、要望により海藻を回収していない。）</p>

3	<p>【指摘】第1回目の調査ではどこの浜を対象として行うのか。</p> <p>【対応】陸側から入りやすい浜（遊歩道から歩いて降りられる浜）を優先的とした。作業員の安全を第一に考えて、各自治会と協議をした結果、陸側からアクセスが困難な海岸は、調査を実施しなかった（梶地区の砲台跡東側海岸など）。また、ゴミの搬出が困難な海岸では流木などの重量物には手を付けなかった（梶地区の松ヶ下海岸など）。</p>
---	--

(4) その他の調査計画について

1	<p>【指摘】本地域検討会での検討事項として、「その他の調査」の調査結果も含まれるのか。</p> <p>【対応】このような補足的な調査も並行して進めることをご紹介させていただいた。基本的には、「その他の調査」の結果は、該当するモデル地域の地域検討会でご報告し、ご意見をいただくことを考えている。</p>
2	<p>【指摘】「その他の調査」で、「国内向け及び海外向け広報活動の検討」となっているが、特に今回の調査をやっているということを海外に広く広報すべきだと思う。そうすれば、ある程度、海外におけるゴミの削減に繋がるのではという気はする。</p> <p>【対応】日本・中国・韓国・ロシアを中心とした北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）において、漂流・漂着ゴミに関するプロジェクトが昨年からスタートしている。それに関連するワークショップ等で、今回の調査の成果を公表していきたい。</p>
3	<p>【指摘】 定点観測調査については本地域検討会では何か対象になっているのか。</p> <p>【対応】調査枠設置地点を経時的に観測する地点として「二の浜」が一番適切なところと考え選定した。写真撮影は阪本検討員に実施していただいている。</p>